

28年産飼料用米（多収品種）生産の準備は、もうお済ですか。

飼料用米の生産拡大による「水田フル活用」に取り組み、安定した収入を確保しましょう。

水田農業をめぐる情勢

- 主食用米需要は人口減等により毎年8万トンのペースで減少しています。
- 需給環境は改善しつつありますが、28年6月末民間在庫は200万トンを超える水準が見込まれます。
- 28年産米の需給調整の取り組み次第では、すぐに供給過剰となり米価は下落します。

単位：千トン、円/60kg

時期	6月末民間在庫数量		価格		
	全国	福島	年産	全国	福島
26年6月末在庫	2,550	147	26年産価格	12,044	9,754
27年6月末在庫	2,260	108	27年産価格	13,265	12,148
28年6月末在庫	2,070	?	28年産価格	?	?

注1)26年6月末在庫数量には米穀機構への販売分35万トンを含む。

注2)28年6月末在庫数量は、農林水産省の「指針」による見通し。

注3)価格は、農林水産省公表28年2月価格(税込)。

注4)福島の価格水準は中通りコシヒカリの価格水準。

単位：円/60kg、%

銘柄	27年産	26年産	27-26	27/26
中通コシヒカリ	12,148	9,754	2,394	124.5
会津コシヒカリ	13,226	13,199	27	100.2
浜通りコシヒカリ	10,533	9,623	910	109.5
ひとめぼれ	11,250	9,686	1,564	116.1

注)農林水産省公表28年2月価格(税込)。

28年度福島県水田農業の取り組みの基本的考え方について

- 27年産米の取り組みを継続・拡大させ、生産調整を確実に達成することにより、米価を維持・引き上げ、安定した収入確保に取り組みます。
- 福島県は、麦・大豆の生産適地が限定されていること、加工用米、米粉用米は需要が飽和状態にあることから、安定した需要が見込まれる飼料用米の生産拡大に引き続き取り組みます。
- 28年産米においては主食用米をさらに削減し、飼料用米の生産拡大に取り組みます。

○主食用米：

・27年産61,500ha⇒28年産60,000ha(▲1,500ha)

○飼料用米：

・27年産3,790ha⇒28年産6,000ha~6,500ha

(27年産+2,200ha~27年産+2,700ha)

○地域農業再生協議会・市町村・JA等で、この「雛形」を参考のうえ推進にご活用ください。

飼料用米への取り組みの3つのメリット等

- 飼料用米への政策支援により、作付け段階で一定の収入が見通せるため経営の安定に寄与します。
- 主食用米の需給改善を促進し、米価維持・上昇、安定的な販売の実現が期待できます。
- 水田維持による多面的機能発揮、耕作放棄地解消、食料自給率の向上にも寄与します。

<飼料用米への政策支援内容>

支援内容	交付単価	備考
直接支払交付金（数量支払）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 55,000/10a～105,000/10a ・ 算出式 80,000+（実単収-調整後標準単収）×25,000/150 ・ 標準単収で80,000/10a 	・ 28年産米より作柄変動による標準単収値の調整を実施します。
産地交付金（多収品種）	・ 12,000/10a	
産地交付金（一般品種）	・ 10,000/10a 以内	・ 予算規模・数量により単価変動あり。
耕畜連携助成	・ 13,000/10a	・ 飼料用米わら利用

<飼料用米取り組みにあたっての留意点>

- 極力多収品種・一括管理による生産拡大に取り組んでください。
- 多収品種は「ふくひびき」を主体に取り組み、種子については最寄りのJA・地域農業再生協議会（市町村）に問い合わせください。
- 一般品種（天のつぶ等）でも区分管理での生産に取り組んでください。

制度別・用途別手取り試算です、取り組みの参考にしてください。

○あくまで取り組みの参考のための、現時点での手取り試算です。

単位:kg/10a、円・税込

区分	主食用米 (中通りコシヒカリ)	備蓄米	飼料米				
			一般品種	一般品種	多収品種	多収品種	
10a収量	542	542	542	692	542	692	
販売収入	販売価格(60kg)	12,100	12,100	11,400	1,800	1,800	1,800
	流通経費(60kg)	2,000	2,000	1,500	1,800	1,800	1,800
	手取り(60kg)	10,100	10,100	9,900	0	0	0
	手取り(10a)	91,237	91,237	89,430	0	0	0
助成金 10a当たり	直接支払交付金	7,500	7,500				
	水田活用交付金				80,000	105,000	80,000
	産地交付金			7,500	10,000以内	10,000以内	12,000
	計	7,500	7,500	7,500	90,000以内	115,000以内	92,000
収入計(10a)	98,737	98,737	96,930	90,000以内	115,000以内	92,000	
地域間調整負担金(10a)		10,840					
差引収入(10a)	98,737	87,897	96,930	90,000以内	115,000以内	92,000	

注1)単収は、福島県の基準単収と飼料用米については交付金の上限単収で試算。

注2)主食用米販売価格は、農林水産省公表の28年1月価格を参考にした。

注3)備蓄米の販売価格、制度別の流通経費は推定。

注4)飼料用米一般品種の産地交付金は10,000円/10a以内(減額調整あり)。

お問い合わせ先

○詳しくは最寄りのJA、農林事務所、普及所、東北農政局福島支局に問い合わせください。